

「子どもたちであふれる学校図書館づくり」

子どもたちが進んで本を読むように…

講師 平湯 文夫 先生

秋の夜長、灯火のもと、読書に親しむ方も多いと思います。

ところで、最近、子どもの活字離れや読書力の低下が問題とされ、新安倍内閣でも「教育改革の目玉」にもなっています。

どうしたら子どもたちが本に親しむようになるか、親も学校も真剣に取り組んでいるところです。

子どもは、もともと本が好きなのです。そこで一寸したアドバイスや改善をすれば、みんな自分から進んで読むようになります。そのコツを知っていただこうと下記のお話を聞くことにしました。

講師の平湯先生は長い間図書館の研究をされ、実地に県内から全国に指導を行ってこられました。昨年は第三小学校（三小）の「としょかん」の移転、改築を指導され、20年前島原市図書館の建設にも当ってこられた、おなじみの方です。

あちこちの実例のスライドなども使って分りやすくお話をさせていただきます。

また、三小の「としょかん」をご一緒に見学して実地を見ていただきます。

どうぞ気軽にお出かけ下さい。

記

1. 日 時 平成18年10月25日(水)午後2時から4時30分まで

2. 場 所 島原市立第三小学校 (島原市広馬場7758番地)

見学 3階「としょかん」

お話 1階 理科教室

3. 内 容 2時から 「としょかん」見学

2時30分から お話

講演 「子どもたちであふれる学校図書館づくり」

講師 図書館づくりと子どもの本の研究所

所長 平湯 文夫 先生

先生は南島原市(加津佐町)のご出身

大学卒業後、県下の高校の先生をされ、さらに長崎市の純心大学の教授となり、定年退職のあと研究所を開き、県下の学校や公立の図書館から全国にわたり図書館づくりや読書指導を行っておられます。

島原市をはじめ島原半島内の他の図書館もお世話になっています。



※駐車場ののご案内 自動車でお出での方は学校の東側、白山公園に駐車できます。
交通安全に気をつけてご利用下さい。

主催:島原市民文化講座・島原文化連盟・島原市教育委員会